

ドラえもん

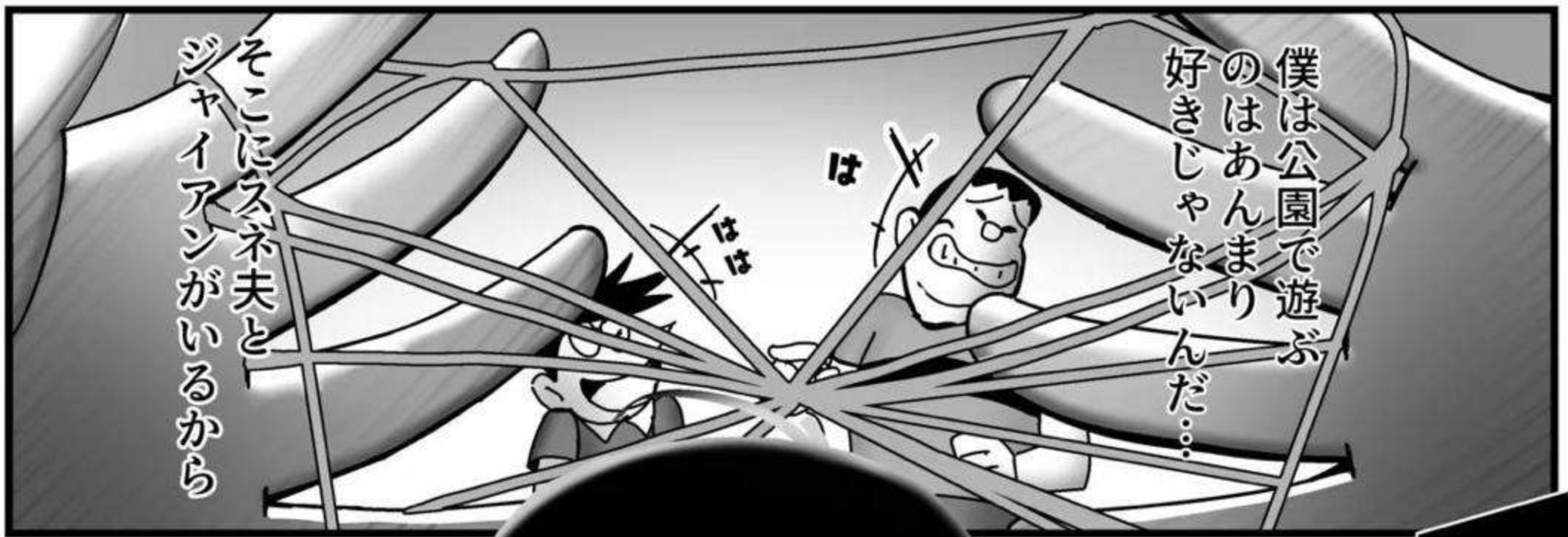
R-18
adult only



もしも
僕が18歳なら







僕は公園で遊ぶのはあんまり好きじゃないんだ…

そこにスネ夫とジャイアンがいるから

え？のび太
一人で寂しそうに遊んでるの？かわいいそう…

僕はいつもバカにされてる…

ジャイアンはいつも野球を誘いにくる下手だとすぐ殴られる

でも家でゴロゴロするとママに怒られる草むしりとか家事とかいっぱいやらさせられるし…

ドラえもんは心の先生じゃないから四次元ポケットで解決できないこともあるんだ…

おいのび太！
ヒマそうにしてんなー
野球やろうぜ！

ミスったら
ぶっ飛ばすぞ！

のび太！
掃除しなさい！
すぐに！

それは僕にもどうしようもないよ！

道具の力でジャイアンを懲らしめてもあんまり意味ないし…

きつとこんな顔して言うんだ…

道具に頼るだけの弱虫め！

お前の本当の力で勝負してみろよ！

いつも僕のことをバカにしてる
僕は何も言い返せないんだ…



一生懸命
勉強しても



簡単な野球の練習を頑張って
あいつらの前で
カッコいいところを
見せようとしても

僕にはどっちも
できないんだ…



すぐ諦めたり逃げたりするのが
僕のいつものパターンなんだ…

僕が得意なのは女の子が
好きそうなことばかりで…



人の話聞いてるのか!!

ジャイアン!?

のび太!

俺をなめてんのか?
ニッぽばすぞっ?

くそっ
また殴られる

僕にできるのはただ耐えて早く終わりますようにと祈ることだけだ

ジャイアンの怒りに直面するたび

想像していた
拳は降りてこなかった
代わりに聞こえたのは
あの優しくて懐かしい声だった

のび太さん
いじめないで！

しずかちゃん！？

しずかちゃんは
さわやかなポニーテールで

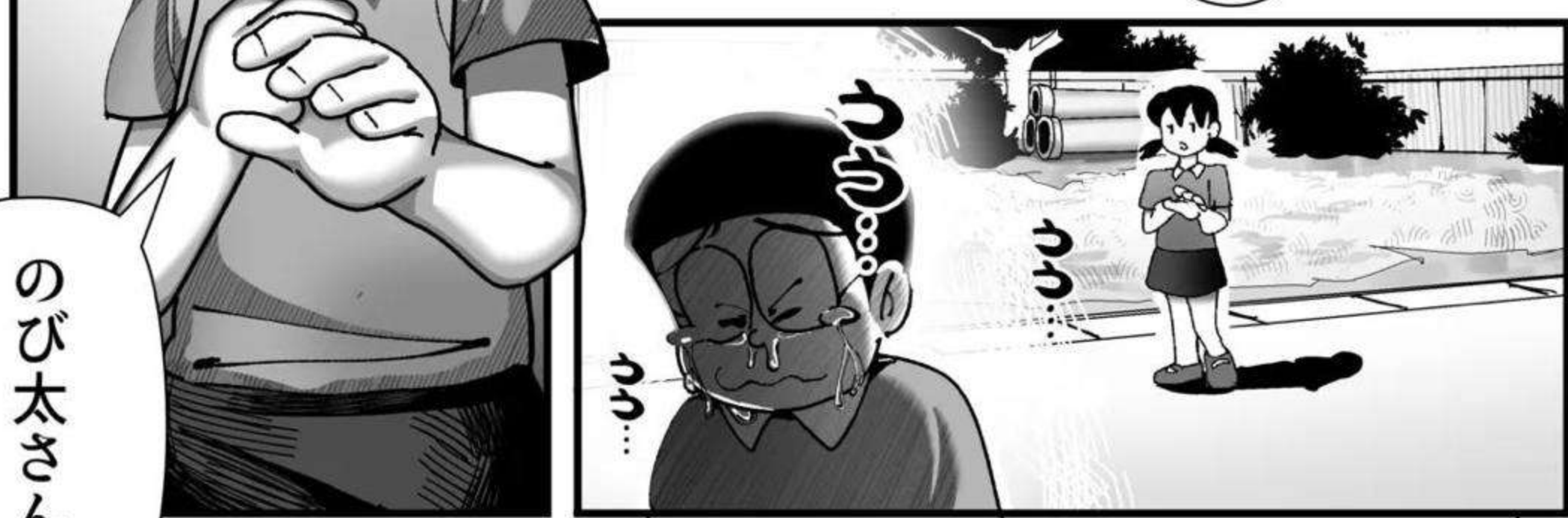
赤色のスカートを風になびかせて
ジャイアンの前に立ちあがった

風に乗って
女の子の優しい
香りが鼻をついた

しずかちゃん
は優しい子だ

勉強もできて
人にも親切で
みんなに好か
れている

いいなあ…
僕とは違って









やっぱり女の子の方がいいよ…

君はしずかちゃんになっても女子と全然うまくいかなかっただろ！

前にしずかちゃんと体交換してたじゃないか

あの時しずかちゃん
は野球もできて
ジャイアン
たちと仲良くしてたぞ

結局先に戻した
がったのはのび太の方だ

僕！最初から
性別が間違っ
たんだよ！

絶対そうだよ！



これなら僕だって
しずかちゃん
みたいに優秀になれる！

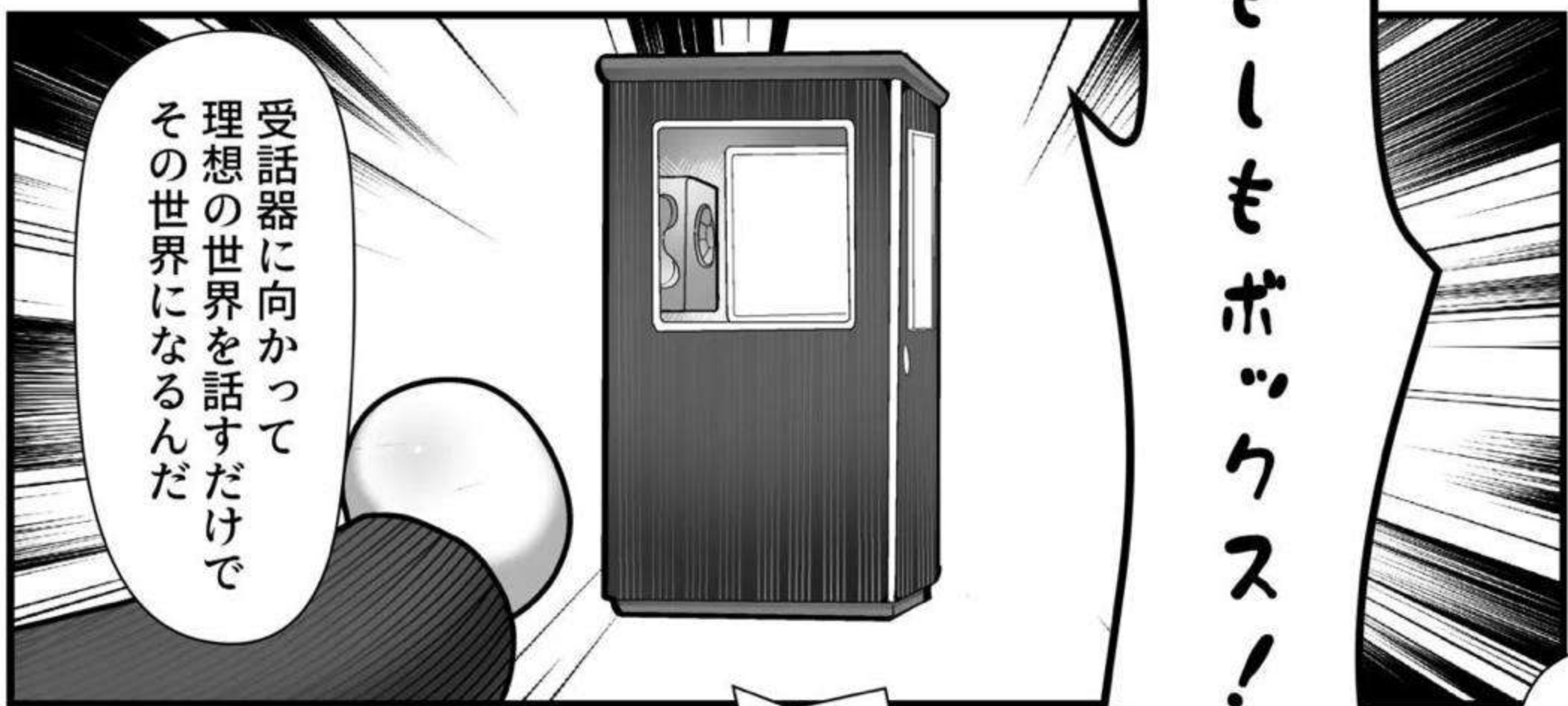
ドラえもん！
僕をしずかちゃん
にしてください！

記憶も習慣も話し方も
全部静香ちゃんのままで！

前失敗したのは記憶と習慣
が足りなかったからだ！

もう
しょうがないなあ…





もしもボックス！

受話器に向かって
理想の世界を話すだけで
その世界になるんだ

そうだ！

僕がしずかちゃんになったら
元のしずかちゃんはどうなるの？

消えちゃう！

それどころか
その世界の野比のび太君
も消えることになる

疑惑

真顔

なんで僕まで消え
なきゃいけないの？

魂の同位体パラドックス
を防ぐためだよ

同じ宇宙に同じ魂が
二つ存在できない法則なんだ

つまり君が
しずかちゃん
になるなら

②

①

二人ののび太君の魂が
存在するのを防ぐため
元の君は消える

でも心配ないよ
記憶も人格も
そのまま引き継がれるから

それに
元のしずかちゃんの記憶も知識も
習慣も全部受け取れるんだ



ドラえもんの説明
はよくわからなかったけど……

この願いを叶えたら
とんでもないことが
起きるのは感じた

でも僕の決意は固い

もしもボックスに潜り込み
震える手で受話器を握った

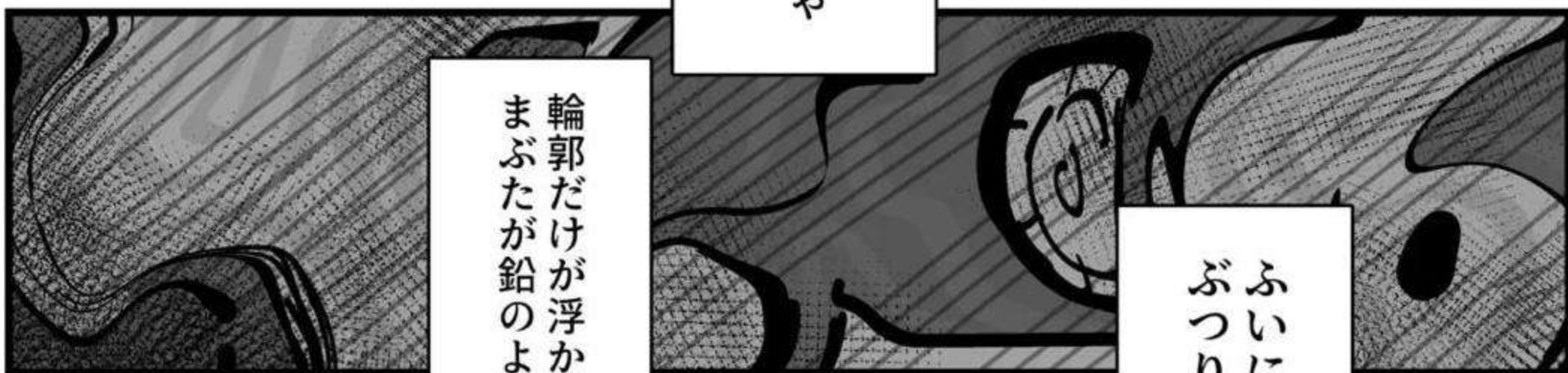
そして
宣言した――

生まれた時から今
までの記憶も習慣も全部
ほしい！

僕がしずかちゃん
にちりたい！



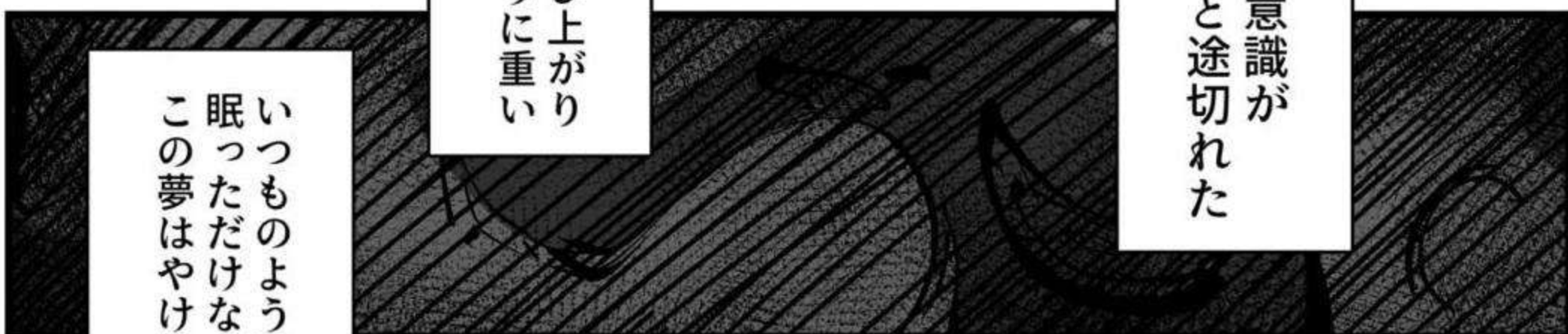
目眩がして
視界がぐちゃぐちゃ
に滲んでいった



ふいに意識が
ぶつりと途切れた



輪郭だけが浮かび上がり
まぶたが鉛のように重い



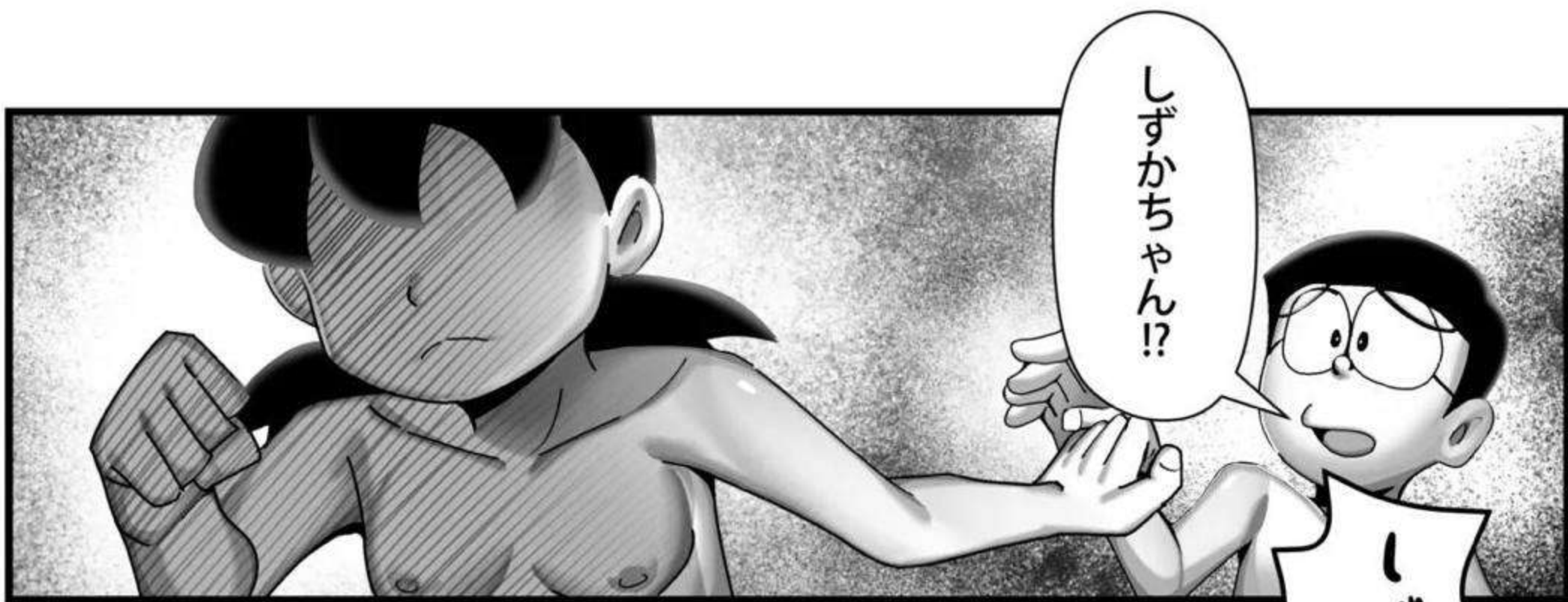
いつものように
眠っただけなのに
この夢はやけに長くて



それに…
他人の記憶の欠片
が混じってる



夢の中では
しずかちゃんが
目の前に立っていた





そしてホラー映画の幽霊のように
僕の体をすり抜けて

僕がまだ状況
を理解できないうちに
しずかちゃんが
次の瞬間こちらへ
走り寄ってきた



……

えっ!?

すごく細い手…

これ…
僕の手?

違う!
これは女の子の手だね?

下を見ると
胸が膨らんでいて
股間は平らで…

これが
女の子の体なの?

あれ?
何言ってるんだろ? 私
もともと女の子だね?

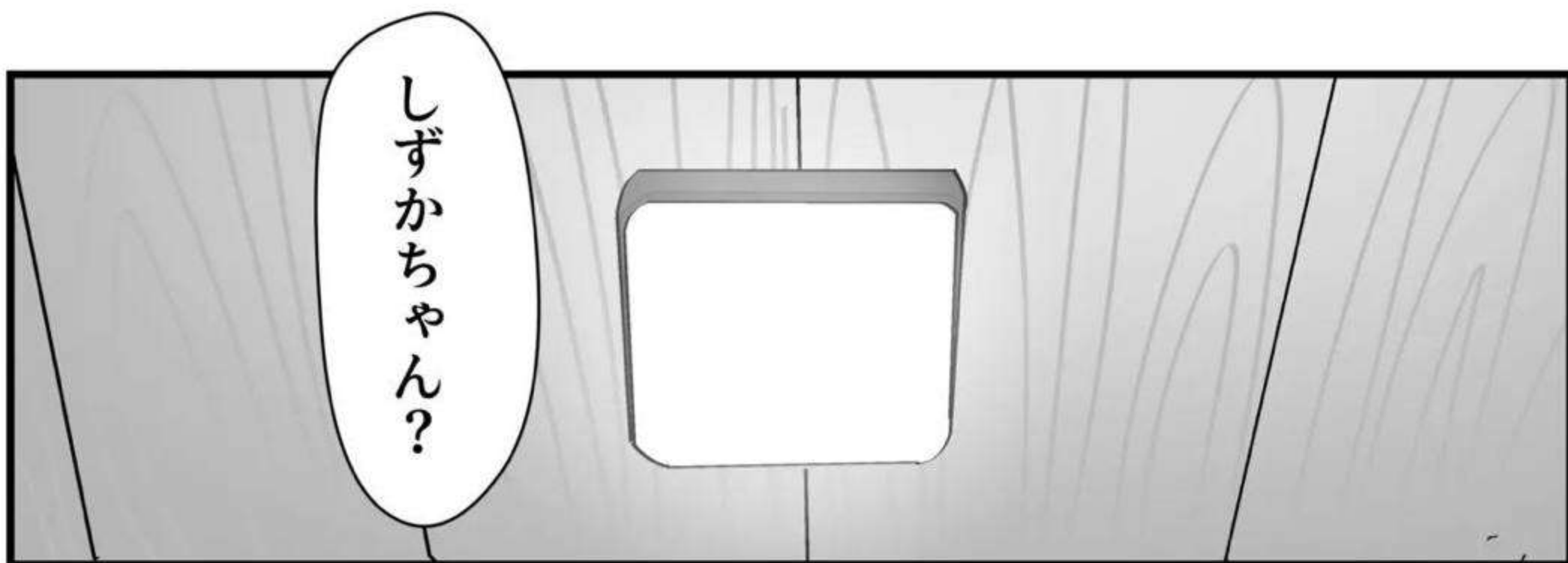
しずか…?

しずかちゃん!

強い違和感で頭
がぐちゃぐちゃになって

突然目の前
が真っ暗になった

わあああ!





鏡に映った
しずかちゃんを見て
とても嬉しかた

へへっ

あたし
今はしずかちゃんなんだ

頭もいいし
みんなに好かれて

あの可愛いしずかちゃんに

彼女の両親や友達とか
全部の人間関係が

ぜんぶあたしのものになっちゃった!

抑えきれない笑みを浮かべ
のび太はごろりと畳に寝転んだ



へへ
あたしは
しずかちゃんになった



え？



スカートの中が
丸見えの状態で



女の子がこんな
姿勢ってのはあんまりだぞ



塾に行くのを
忘れないでね

しずか



え？



しずーか！

女の子がそんな姿勢で
スカートの中丸見えじゃん！
すぐに起きなさい！

あ！
私のこと？

あ
た
ま
ふ
る
す
か

はい！
はい！！

わ！
わかりました！！

お母さんが教えたお行儀
もう忘れたの？

今の自分がしずかちゃんだったこと
危うく忘れるところだった

えっと
お行儀って何だったけ？

少し思い出そうとして
体が習慣で自然に正座の姿勢になった

畳の上でぴんと背筋を伸ばす

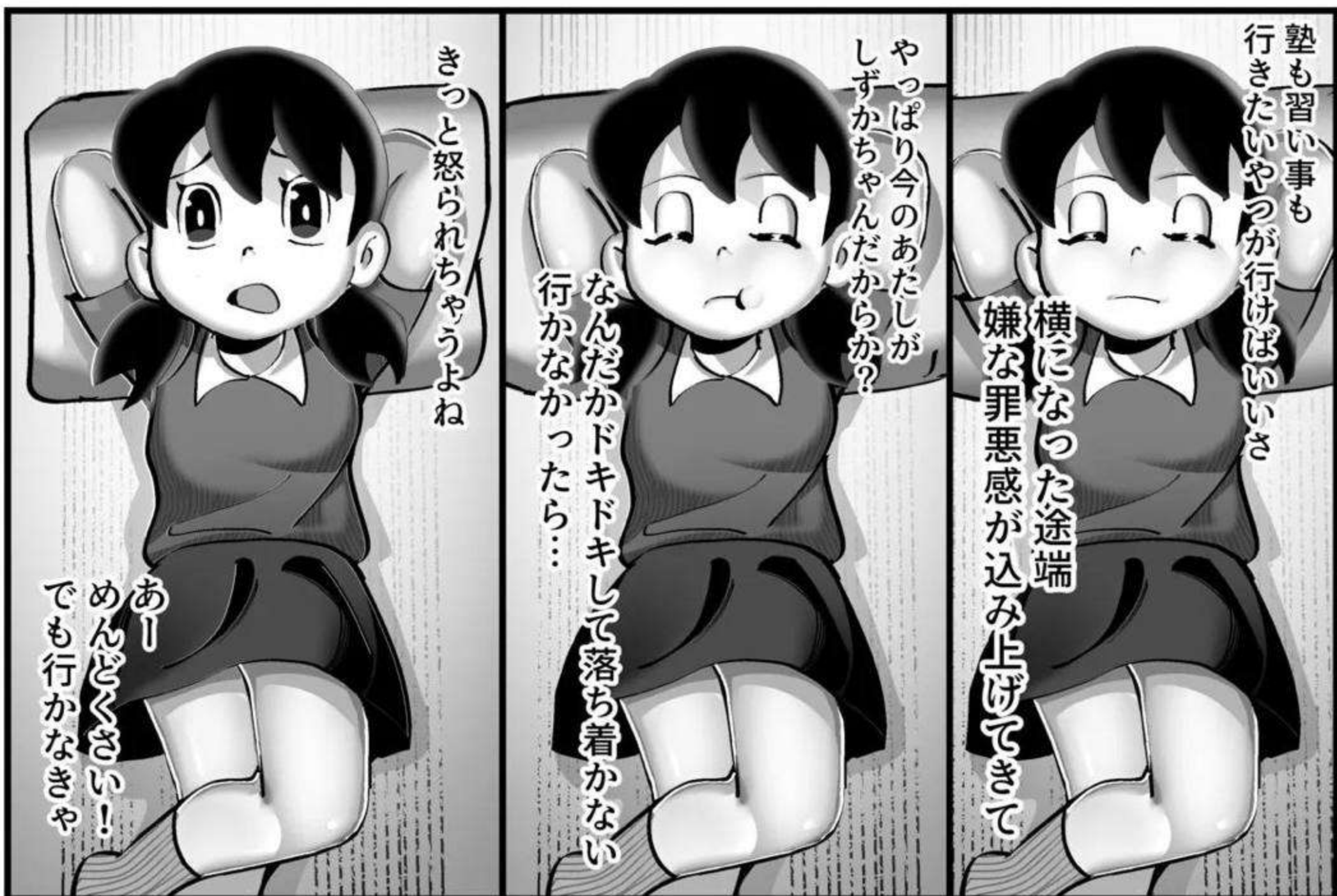
塾の時間を
忘れないでね

先生から成績が不安定だって
聞いてるわよ
失望させないでね しずか

ドラえもん
もしっかり見ててね

真剣に





わっ！
体操服！
水着もある！

ちやん

しずかちゃんぐらいの子でも
ドレスがあるんだ

女の子の服の種類
多すぎて目が回るよ

残念だけどすぐ塾だ
しずかちゃんが着
たらきつと
可愛いだろうな

帰ってから試着して
今は普段着でいいや

着替えるならまず脱がなきゃ

自分でしずかちゃんの服
を脱がすなんて初めてだ

前は風呂で覗いてたけど…

でも…

今はマジでヤバイ状況だ

仕方ないよね！
ごめんねしずかちゃん！
許してくれるよね



服がさやさと
擦れる音がして

少しの汗の匂いが気になって
息が自然と荒くなった



スカートをぱんぱんと叩いて
服を整えた



くるりと回って
いい感じ

しずかちゃんはいつも通り可愛いけど
ただ顔が普段より赤い



行ってきますす！

少なくとも見た目は彼女と
そっくりになった



顔にしずかちゃん
の特徴的な微笑みを浮かべて



随分と眠そうだね
昨夜はよく眠れなかったの？

しずかさん？

普段なら真剣
に講義を聞くしずかさんが
今日は別人のように
なったみたい

ええ…

昨夜遅くまで勉強してたので…
次からは気をつけます

申し訳ありません
先生

しずかさん
は本当に努力家だね

でも体を大切にしないと

もし元ののび太だったら
チョークで頭を叩かれてた

でも仕方ない
今は優等生のしずかちゃん
なんだから

塾の時間は
あつという間に終わった



この先に新しいケーキ屋さん
がオープンしたんだ

みんなで行って
みない？

え？
どこどこ？

ケーキ大好き



ついでに新しい服も見て



帰り道で
少女マンガの話で
盛り上がるで

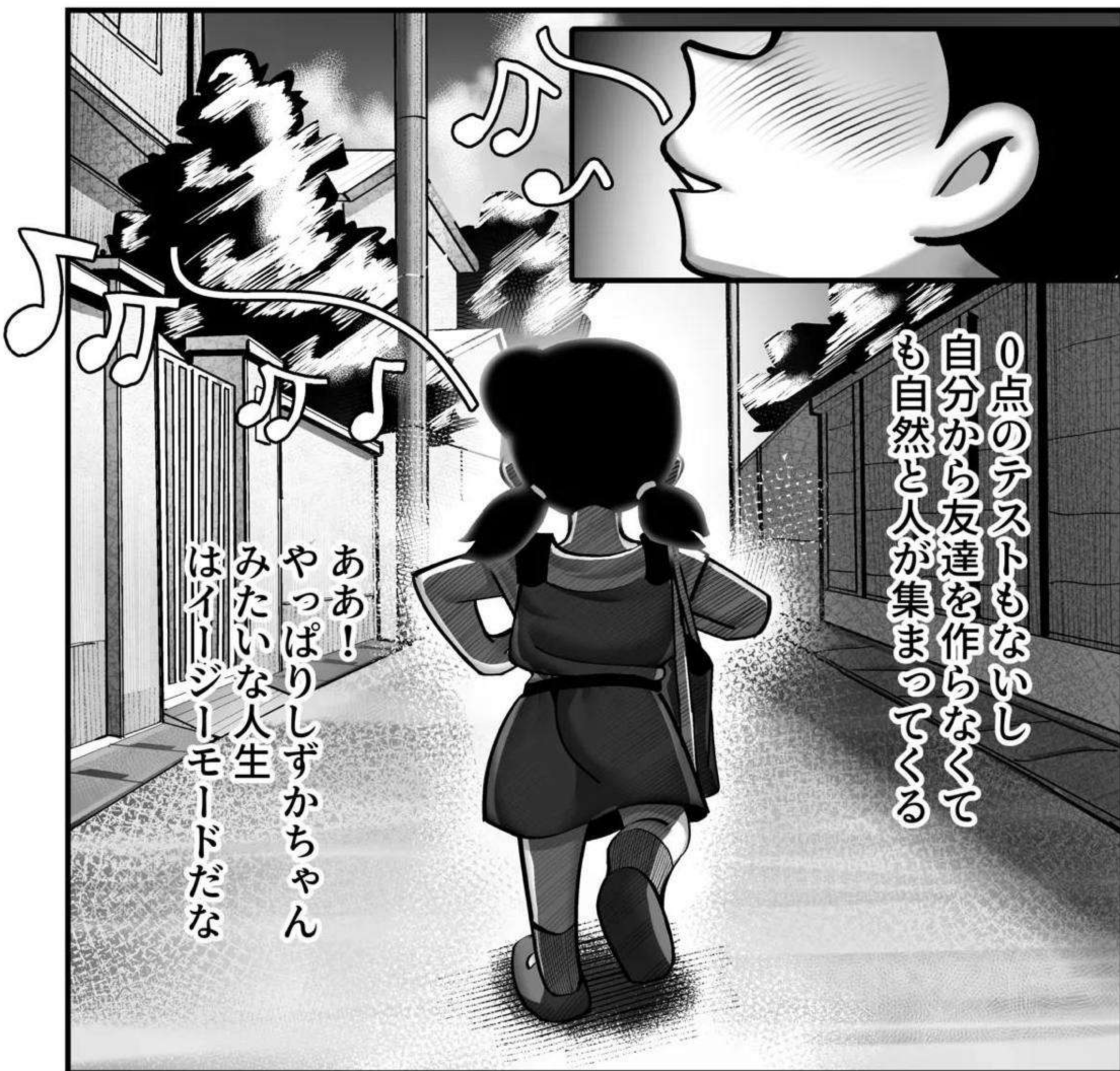


よくわからないけど



でもすごく楽しかった





ドアを開ける

おかえり
しずかちゃん

今日の塾
はどうだった？

何か面白い
ことあった？

この青いやつ
羨ましいな

学校も仕事もないなんて
元の僕よりずっと楽だ

別に
いつも通りだよ
ドラえもん

それとしずかちゃん
お風呂の準備ができてるから
忘れないでね

お風呂…

まさかあれか！



そういえば
前回は結局服
を脱ぎ切れなかった



トイレで
見るのも怖くて
何度もしずかちやんのパンツを
濡らしそうになった



ドキドキ
やっぱり恥ずかしい
自分がしずかちゃんなのに

顔がますます熱くなるけど
手の動きは止まらない

パンツも脱いで

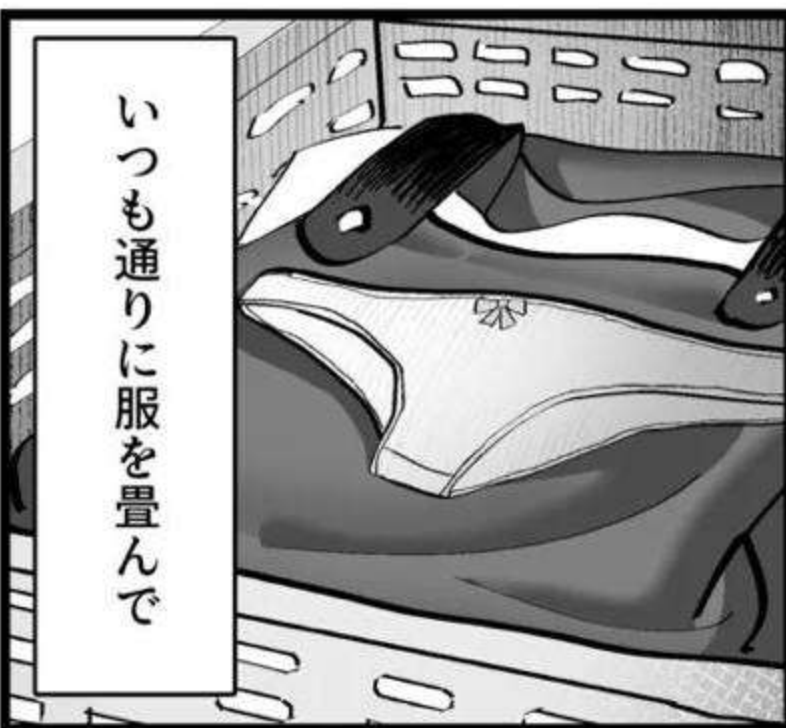
小さな手が慣れたよう
にブラウスのボタンを外して

ドキドキ
ドキドキ

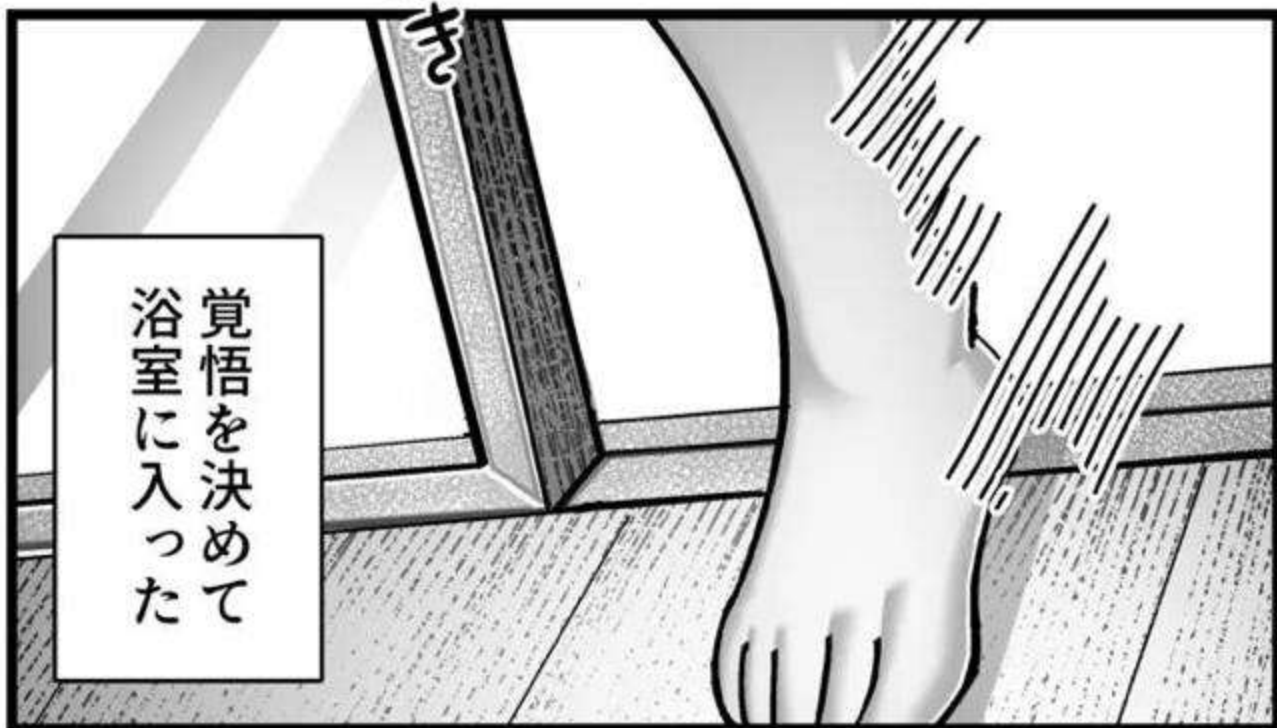
髪もほどいて

ドキドキ

いつも通りに服を畳んで



覚悟を決めて
浴室に入った





それでも指の隙間
からこっそりのぞいて













お見え

大好き
将来結婚しよう♡

そして私の体
好きに見てもいいよ

はあふ

うわー

後次はー

男の子と女の子の一番
大きな違い

興奮

ふ は

実はずっと知り
たかったんだ

女の子のおまん
こって一体どんな感じ

は 横になる

指先が冷たい感触で
温かいおまんこに触れると
思わず体がビクッと震えた

ときときとき

その小さな
突起をつまむ

ときときとき

ときときとき

名前は
分からないけど

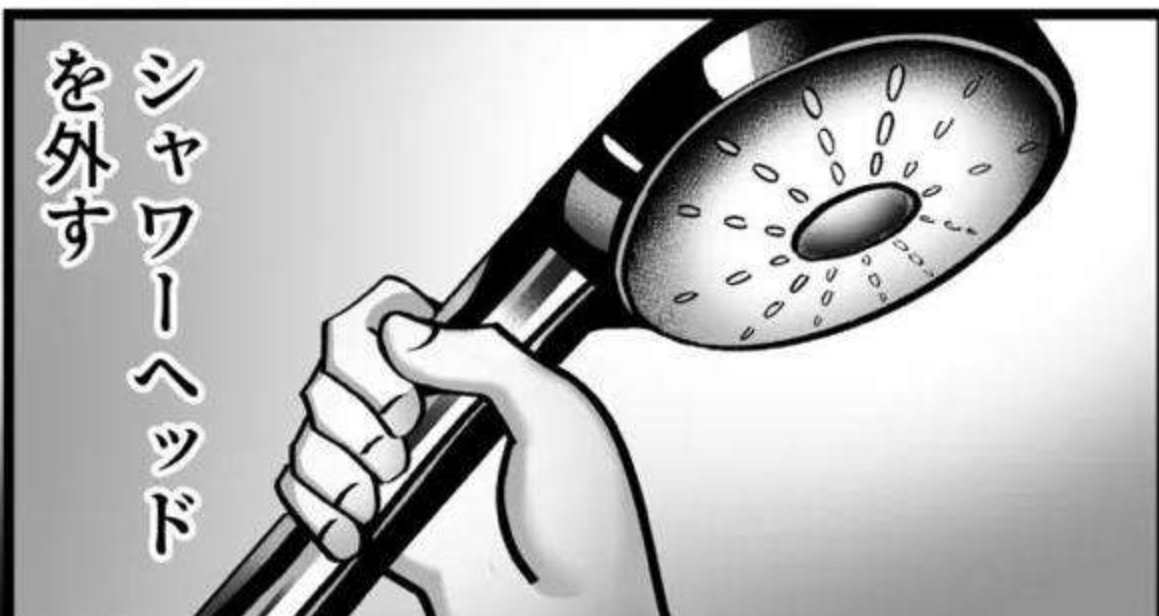
だが…

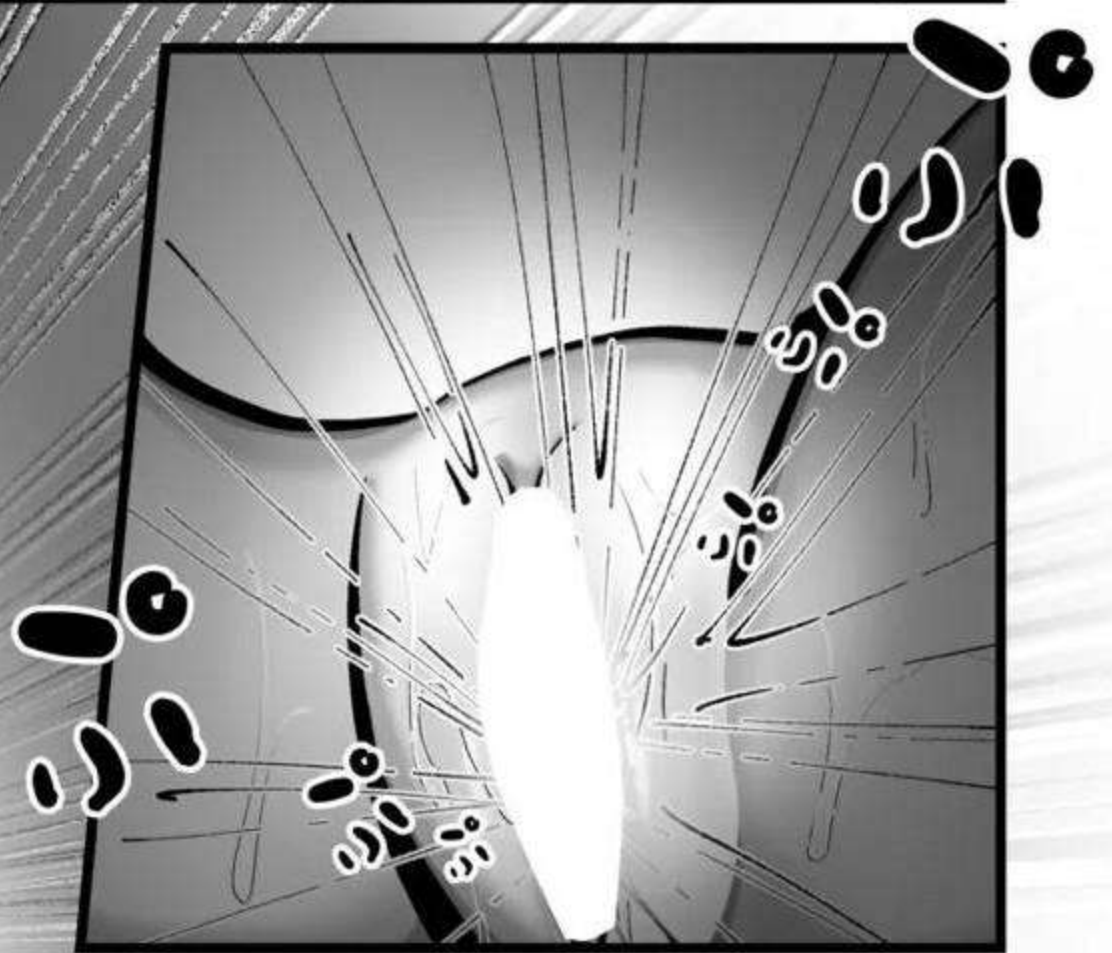
ときときとき

気持ちいいー

あー
うー!!













アッ

アッ

はっ

いっけい

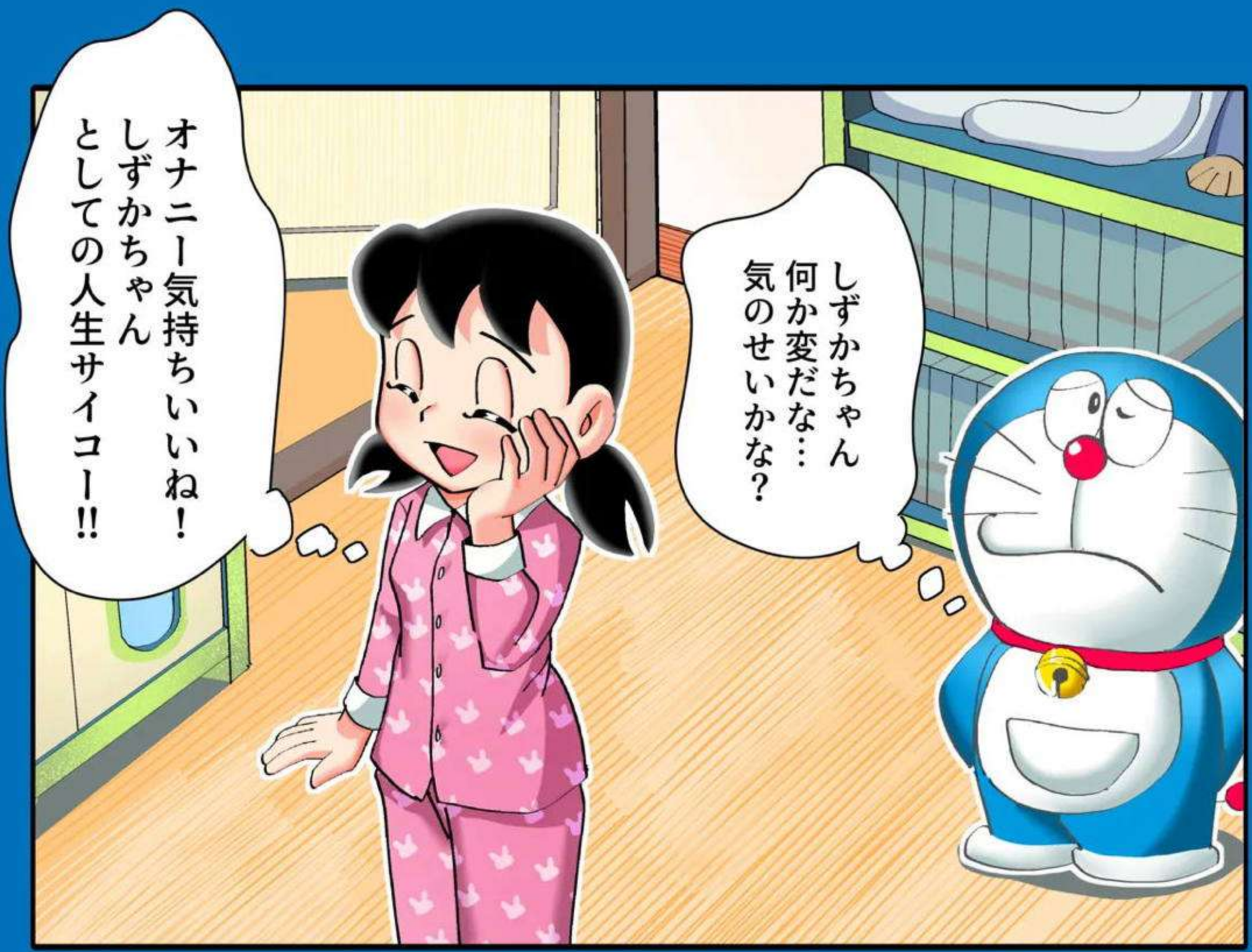
馬面
おっ

おっ





to be continued



奥付

作品名—もしも、僕がしずかちゃんだったら

企画—hun_john

脚本—洛白舟

絵師—海本なつみ

X: <https://x.com/kurrrn58358251>

Pixiv: <https://www.pixiv.net/users/19795803>

※無断複製や転載を禁じます

本書の画像、章節、内容を無断で複製または転載しないでください

※本書を一般大衆に見せないでください

また、オークションサイトで本書を販売しないでください

後記

こんにちは
海本なつみです

『もしも、僕がしずかちゃんだったら』をご覧いただいた皆様
心から感謝致します！

小さい頃『ドラえもん』の漫画を手にとった時は
いつか自分も同人漫画を描けるなんて
夢にも思っていませんでした

今回の創作は
道のりが険しく
ページ数も倍増しましたが
それぞれの画面に

細部へのこだわりと愛を込めて描きました
hun_johnには
この漫画の制作に大変お世話になり
画面やストーリーで多くの助言をいただきました
ありがとうございました

皆様には
これからも私とhun_johnを応援していただけたらうれしいです
TSFの世界で
もっと自由に飛び回り
もっと面白い物語を描きたいと思っています
今後とも
どうぞよろしく願いいたします！

